

MORO Takeshi

茂呂毅写真展

Benign Neglect

高松市

塩江美術館

開館 30 周年記念

ジャパニーズ アメリカン ボンサイ

2024

4月13日 土 ▶▶▶ 5月26日 日

開館時間 9:00~17:00 (入室は16:30まで)

観覧料 一般 300 円、大学生 150 円 (常設展観覧料含む / 団体は 20 名以上 2 割引)

高校生以下及び 65 歳以上の方、身体障害者手帳等の所持者、

高松市キャンパスメンバーズ制度加盟大学等の学生は無料

休館日 月曜日

(4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館、

4月30日(火)、5月7日(火)は休館)

主催 高松市塩江美術館

《Untitled Bonsai》2024

高松市塩江美術館
Shionoe Art Museum

高松市塩江美術館は今年で開館 30 周年を迎えます。

それを記念して開催される第 1 弾の展覧会では、アメリカ合衆国サンフランシスコを拠点に制作活動をしている写真家の茂呂毅（もろたけし / 1978 年埼玉県生まれ）に焦点をあてます。

第二次世界大戦中、強制収容されるなど厳しい生活を強いられてきた日系アメリカ人の中には、終戦後、心の拠りどころとして、盆栽を始める人たちもいました。これらの盆栽は、月日が経つにつれ、忘れ去られ、枯れていくものもありましたが、ひとりの日系アメリカ人の手によって一部が生き返り始めました。茂呂は、このような再生する盆栽を見て、移り行く盆栽の命の意味を考え、写真に残します。

本展では、茂呂の写真作品約 60 点とともに、大谷徳氏（香川県まんのう町在住）にご協力いただき、盆栽や山野草作品も展示します。盆栽を通してみえてくる人間の在り方をみつめます。



《Untitled Bonsai》2024

アーティストレクチャー

※内容については、変更になる場合があります。

内 容：出品作家が担当学芸員と作品の解説をおこないます。

開催日：4 月 13 日（土）

講 師：茂呂毅（出品作家）

時 間：14:00 ～

場 所：塩江美術館企画展示室内

対 象：一般

参加料：観覧券が必要

茂呂毅 MORO Takeshi

埼玉県深谷市出身。米国ブラウン大学で経済と芸術を専攻し卒業。

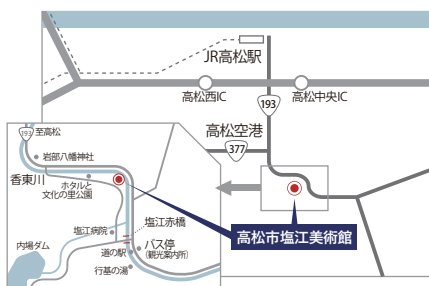
シカゴ美術館附属美術大学で修士号を取得。

これまでに日本、アメリカ、フィンランド、ドイツ、アイスランド、韓国での展示やフェローシップを経て、平成 27 年度に高松アーティスト・イン・レジデンスにも参加。

現在は米国サンフランシスコを拠点に制作活動をしなが、サンタクララ大学で准教授を務めている。

主な展覧会に「UBS 12 x 12: New Artists/New Work」シカゴ現代美術館（アメリカ）、「Breaking ICE」バークレー美術館（アメリカ）、「Ichi-goichi-e」セーラキュース美術館（フィンランド）。

<http://takeshimoro.com>



【アクセス】

バ ス：JR高松駅から「ことでんバス塩江線」約60分、香川県高松市塩江町安原上602

塩江バスターミナル下車徒歩10分

自動車：高松市中央ICまたは高松西ICより約40分、

脇町ICより約30分

飛行機：高松空港よりタクシーで約20分

〒761-1611

香川県高松市塩江町安原上602

TEL:087-893-1800

FAX:087-893-1833

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/shionoe/>



高松市塩江美術館
Shionoe Art Museum